

消費者モニター 活動報告

第51回 消費者モニター会議

2011年8月26日、「食のサポーター」による消費者モニター会議、第3回目を開催しました。

今回は、「食の安全・安心についての豆知識」と題して、日頃の食生活において安全な食品を選ぶための学習会を×のクイズ形式で行いました。普段から気にして見たりしているものでも問題として改めて出題されると、皆さん少し緊張され迷いも生じたようで全問正解とはならなかったようです。皆さんの手元には正解の証として配られたウイナーソーセージが増え、笑顔も交えながらの学習会となりました。

会議風景



皆さん迷いながら悩みながら
札をあげて！

「、×どっち」
考えるほど迷い答えが
割れました





解説を聞き「なるほど」
「勉強になった」

赤鶏の試食会
正解者への景品のウイナー
も増えて満足！



サポーターの方々のコメント

- ・ クイズ形式の学習はわかりやすく、とても楽しかった。
- ・ 身近な問題ばかりであったが、はっきりとした違いや定義がわかっていないものばかりで、良い勉強をした。
- ・ 普段何気なく目にする食品の表示だが、きちんと理解しないまま購入していたことが改めてわかった。
- ・ 食品添加物の成分や使用量は、法律に基づいて細かな規定があり、海外品に比べて信頼性が高いと感じた。
- ・ 最近は輸入食品も多く見受けられるが、安全性・信頼性から鑑みても国内生産・加工されたものを購入したいと実感した。
- ・ 魚貝類の原産地表示は、捕獲した場所または生産されたところだけでなく、水揚げされた場所も含まれていることをはじめて知った。
- ・ 食品には、消費期限と賞味期限が記載されているが、それぞれ定義が違うので、一般消費者にはわかりにくい。
- ・ うす塩・うす塩味・減塩・塩味控えめ・塩分控えめ等、表現が曖昧で消費者にはわかりにくいと思う。

- 缶コーヒーやボトルコーヒーを購入するときに無糖・微糖・低糖・甘さ控えめなどのように違うのか疑問を抱いていたが、今回の学習でそれぞれの違いが理解できた。
- 食品添加物の使用基準が厳しく制限されていること、使用されているものが複数でも体に有害な物質に変化しないことを知り安心した。
- 今回の学習で食品に関する知識が多く得られ、根拠のない不信感が払拭された。
- 牛肉の個体識別番号をパソコンで検索してみようと思う。